

全校集会

- 皆さん、おはようございます。今学期より全校集会を月2回、放送ではなく体育館で一堂に会した形で行うこととしました。
- 理由としては、皆さんの反応や様子を直に見てお話をしたいということと、1年生から3年生まで一堂に会することで、それぞれの学年の刺激となり、さらに一体感が育てばと思っています。
- 例えば、『3年生は、全体の見本となる行動をとること』や、『2年生は、自分たちが最上級生になった時の準備の期間として』、『1年生は、2・3年生の行動をみて学ぶ』等など。
- 各学年の学年集会では、教室から整列して各集会の場所へ移動していますが、全校集会では、登校してきたら教室に荷物を置いて各自で体育館へ集合することになります。
- 学年集会の時のように整列して移動することは、集団で避難する時などの安全性が高まることでとても大切なことです(外国人から見て、日本人がどのような場所でもきちんと整列できることを不思議に感じている ← 『学校教育のおかげ』とも言われている)。
- 災害時に、必ず集団で居る(例えば、教室に)とは限らず、それぞれ違った場所から指定された集合場所に集まれることも大切なことです(訓練というよりは、臨機応変な対応が必要)。
- コロナ禍以前の昭和中学校が各学年2学級の時代は、校舎内のピロティで全校集会を実施していたようです。
- ピロティに比べると体育館は少し離れていることや、出入りに時間が多少かかり、「1時間目の授業に影響が出るのではないか」という心配もありますが、
- 皆さんの日頃の行動を観ていて大丈夫だと感じています。全校集会が、全校生徒の協力のもと、学校全体の一体感がさらに深まるものとなることを願っています。